

山口議員（自民議連）

令和4年9月26日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）中学校の運動部活動及び文化部活動の地域移行について

中学校の部活動改革による地域移行で想定されるリスクについての課題認識と整理方針について、教育長に伺う。また、地域における部活動の受け皿や指導者となる人材の確保策等に関する検討状況及び今後の見通しについて、併せて教育長に伺う。

（答）

本県における中学校部活動の地域移行につきましては、課題の整理を進めるため、本年6月に、国の検討が先行している運動部について、アンケートを県内市町に実施したところ、

- ・ スポーツ団体等の受け皿がないこと、
- ・ スポーツ指導者の確保が困難であること、
- ・ 保護者の費用負担が生じること

などの課題が挙げられたところでございます。

また、取組の進捗が市町ごとで大きな地域差がみられたところです。

部活動の地域移行を円滑に進めていくためには、それぞれの地域の実情に応じた課題の解決が必要であると認識しており、各市町の状況や課題を丁寧にお聞きし、適切な先進事例の紹介などの支援を行っていく必要があると考えております。

このため、今後、10月下旬にかけて各市町を訪問して、学校の運動部及び文化部の種類や部員数、地域の受け皿の有無及び指導者確保の目途や取組の状況などを具体的にお聞きするとともに、それぞれの市町が抱える課題に即して、大学生や退職教員等の地域人材を掘り起こして活用した例やPTAを中心に市民クラブを設立した例を御説明するなどして、検討を具体的に進めていただくよう促してまいりたいと考えております。

他方、スポーツ団体等の受け皿やスポーツ指導者の確保策などにつきましては、県スポーツ協会による地域スポーツ団体の連絡会議においても検討が進められているところでございます。

その中で、中学校部活動の地域移行に関する課題といたしましては、

- ・ 受け皿となり得る地域の団体等の適切な規模や地域人材の確保策、
- ・ 保護者の理解を得られる費用負担の在り方

以外にも

- ・ 不適切な指導の具体的防止策,
- ・ 事故発生時の緊急対応に関する体制の構築

などが挙げられているところでございます。

今後は、こういった課題も踏まえながら、また、国などの動向も注視しながら、市町を始め、関係の機関とより具体的な検討を進めてまいります。

引き続き、中学校部活動の地域移行に向け、地域社会で子供たちの多様なスポーツ・文化体験の機会を確保し、子供たちの望ましい成長を保障できるよう、県内市町と連携を図ってまいります。